

厚生消防常任委員会要点記録

日 時	令和7年3月12日(火)	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	13時48分	2:36
場 所	委員会室			
出 席 者	宮委員長・渋谷副委員長・長谷委員・前田委員・矢野委員・野沢委員・小林委員 傍聴議員：吉永議員・生本議員・柏野議員・新岡議員			
説 明 者	副市長、生活環境部長、保健福祉部長、子ども未来部長外34名	傍聴者数	0人	
事 務 局	議会事務局長、議会事務局次長、議事担当主査	記 者	2人	

会 議 の 経 過 事 項

<p>小路生活環境部次長</p> <p>長 谷 委 員</p>	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>● 1. 所管事務調査について</p> <p>1) 報告事項</p> <p>・ 事故等発生（処理）報告について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 私からは、2番、火葬許可証の誤交付についてお聞きしたいと思います。これが行政が主導でやっていたことではなくて、指定管理者がやったこととの報告だったかと思うんですけども、考えてみると、人として生きて最後に骨になるときのことですよね。書いているのを読むと理解するんですけども、うちは納骨堂なので、箱から骨壺を取り出すということはないんです。その間に火葬証明書が入っているんですよ。それを遺族が見ることというのはあまりないんですよ。これを間違えて、名前だけだったにしても間違えたということは、あっちゃいけない。ですから極端に言うと、四十九日、家にお骨を置いておいて、違う方の骨に手を合わせている可能性もあったかもしれない。そういうことを考えるときに、やはりこういった火葬場の指定管理者になった方に本当に注意していただいて、恵浄殿の火葬場は1体1体仕切られていないという不都合もあったのかもしれませんが、それなりの火葬場の状態に合わせた管理をしていたかと思うんです。慣れだとかというのを書いていますが、この件に対して行政から当然きつい指導はしたのではないかと思うんですけども、ちょっともう一回そのところを伺います。</p>
---------------------------------	--

菊地戸籍担当主幹	① 今、質問がありましたことについてお答えさせていただきます。市として指定管理者に対してどのような指導をしているか、これからするかという御質問なのかなというふうに思うんですけども、指定管も今回の件の対応としては、業務工程の見直しやチェック体制の強化などをするという回答はいただいております中で、今回の事故対応のほかに、業務全般に関しまして、市からちゃんとやれよということで、業務改善指導書も出して通知をさせていただいて、これに基づいて、業務が適正に行われるような形で報告もいただいておりますし、今後、適正に遂行されているかどうか適宜確認をしながら、火葬サービスの低下を招かないような形で業務を進めさせていただきたいと思っております。
長 谷 委 員	② 業務改善書類を提出されたということですがけれども、そのチェックというのはどのぐらいの頻度でやるおつもりでしょうか。
菊地戸籍担当主幹	② 頻度は不定期みたいな形にはなりますけれども、窓口のほうに納金しにきたりとかいう折に触れて、ちゃんとやっているかという指導をさせていただくと、あと、不定期になって申し訳ないんですけども、現地のほうも確認をさせていただきつつ、指導とかをさせていただきたいなと思っております。
小路生活環境部次長	② ただいまの補足でございますけども、まず指定管理者とは、毎月、定例会議を開催してございます。それは最低限の情報交換でありますとか、市からの指導ということでさせていただきます。それから本件を受けての業務体制の見直しですとか、改善指導書でお願いしている部分につきましては、定期ではございません、例えば抜き打ちですとか、そういった部分で、やはり業者のほうにも危機感ですとかを持たせるようなチェックの方法について、これから対応していきたいと考えております。
長 谷 委 員	③ 分かりました。きちっとチェックしていただいて、これはいくら指定管理者がやっていることといえども、こういうことが大っぴらに出ると恵庭市の評判に関わることでございますので、それを心してきちっと指定管理者のほうに指導していただきたいというふうに思います。
小路生活環境部次長	③ 先ほど委員からもありましたけれども、やはり火葬場サービスというのは、御遺族にとっては非常に厳粛な場でございます。そういったことから、市としましても、従来から指導は行っているんですけども、今回、指定管理者業務とはいえ、そういった観点からは、やはり市の責任というのも重く受け止めているところでございます。そうであることから、繰り返しになりますが、まずは業務改善を徹底して指導していくとともに、それに対して市がいろんな機会にチェックをしていくようなことで考えてございます。
秋 葉 警 防 課 長	<p>日程 1. 所管事務調査について終了</p> <p>● 2. 消防本部・署関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ② 救急支援システム実証実験経過及び導入に係る契約締結について</p>

<p>澁田 予 防 課 長 佐藤 消 防 救 助 1 課 長 高 野 救 急 課 長</p>	<p>資料説明⑳火災発生規模・概要について 資料説明㉑消防・救急出動概要について</p>
<p>小 林 委 員</p>	<p>【質疑】 ① 私のほうからは、資料㉑、火災発生規模と概要についてなんですけども、資料を見比べますと、焼損面積が非常に大きく減っているかなというふうに感じたんですけども、この要因について伺います。</p>
<p>澁田 予 防 課 長</p>	<p>① ただいまの御質問ですけれども、燃えた建物の規模ですとか、そういったもので面積が小さくなっている、件数に比べて、件数はさほど変わらないですけれども、このように小さくなっているということになります。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】 なし</p> <p>日程 2. 消防本部・署関連終了</p> <p><u>10時16分 休憩</u> 10時18分 再開</p> <p>● 3. 生活環境部関連 1) 報告事項</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>資料説明㉒自転車安全対策推進事業について 資料説明㉓エコバス路線・ダイヤ等の見直しについて</p>
<p>渡邊地域担当主幹</p>	<p>資料説明㉔町内会活動活性化事業補助金の活用状況について 資料説明㉕市民の広場開催結果について</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>資料説明㉖防犯灯の維持管理等について</p>
<p>菊地戸籍担当主幹</p>	<p>資料説明㉗恵庭墓園の整備計画等の見直しについて</p>
<p>東脱炭素推進課長</p>	<p>資料説明㉘ゼロカーボン・ロードマップの取組について</p>
<p>中山廃棄物管理課長</p>	<p>資料説明㉙ごみ減量化ゲームについて</p>
<p></p>	<p>資料説明㉚リサイクルセンター整備基本計画（案）について</p>
<p>山 口 市 民 課 長</p>	<p>資料説明㉛休日交付業務の見直しについて</p>

<p>前 田 委 員</p>	<p>【質疑】</p> <p>① まず、資料②、エコバス路線・ダイヤ等の見直しについて。2項の見直し内容の(2)①課題が運転手の人材不足による運行体制の維持と運転手の負担軽減というふうになっております。恵庭駅での15分の確保というのは運転手の負担軽減になると思うのですが、人材不足の対応策というのをどのように考えられているのか、まず伺います。</p> <p>② 2つ目は、資料⑤、恵庭墓園の整備計画等の見直しについて、これは平成27年から10年が経過して、お墓に対する市民ニーズが大きく変わってきているという認識は持っております。そこで、この辺の見直しについては理解するところですけど、改めて、この見直しの前提になったお墓に対する市民ニーズがどのように変わってきたのかというのを伺います。</p> <p>③ 最後に資料⑧、リサイクルセンター整備基本計画(案)についてです。事業方針や候補地の評価、これについては理解しました。分かりましたけれども、この計画案を基にここで決定をして、事後の事業スケジュールに進めていくということでもいいのか、今後、4年後、5年後の先の話ですから、今後またいろんな検討していくから変わるのでここでは決定しないのかどうか、その辺のところ、これを一つの決定として次のスケジュールに進んでいくのかというところを伺います。</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>① 私からは、エコバス路線・ダイヤ等の見直しの中で、恵庭駅の15分の休憩の確保で人材不足への対応策をどのように考えているかということだと思っておりますけれども、今回の見直しに当たりまして、運行会社と意見交換を何度も行っております。その中で、運行上の課題についての改善策を検討してきましたんですが、現状、島松駅での休憩15分を含めて、2時間で1周するダイヤとなっております。それを恵庭駅で15分の休憩を確保し、1周を2時間7分とすること、これが最も優先的な改善策として見直しを進めてきたところであります。恵庭駅の休憩時間を6分から15分に延長したことで、便によって違うのですが、エコバス1台当たりの1日の休憩時間が40分から60分ほど多くなるということで、運転手の働きやすい環境に改善する、そういったことで運転手確保につながってくると考えているところです。それと、答弁とちょっと違うのですが、一つ資料の訂正をさせていただければと思うんですが、資料②の1の経緯のところ4行目です。本年6月に開催したと書いてあるのですが、申し訳ありません。昨年6月に開催したということで訂正をさせていただきます。</p>
<p>菊地戸籍担当主幹</p>	<p>② 私からは、お墓に対する市民ニーズの変化についてということでお答えさせていただきます。従前は、御先祖様の供養をすることとか、お骨をお墓に入れる、自分の墓を持つということが当然のこととして捉えられていたことに対して、近年の様々な社会情勢の変化、少子高齢化とか核家族の進展などに伴う世帯構成の変化、家族間やライフスタイルの多様化などがあります。また、</p>

<p>中山廃棄物管理課長</p> <p>前 田 委 員</p>	<p>前回、市民アンケートを取らせていただいた結果からも、お墓の管理が大変になってきたとか、子どもにお墓の心配をかけたくないなどの価値観の変化や墓所を後世に残さないという考え方を持つ方も増えてきているということがうかがえます。このような市民の墓所需要、お墓の区画を借りてお墓を建てるというニーズが減少してきているというふうに感じております。</p> <p>③ 私からは、リサイクルセンター整備基本計画についてお答えさせていただきます。本日いただいた御意見ですとか市場性の調査結果をもちまして成案化し、内部での決裁を経た後、公表を考えております。今後の事業スケジュールについても、基本的に都市計画の決定ですとか事業者選定に遅れがない場合、記載の予定をベースに進めていきたいというふうに考えております。</p> <p>④ ②墓園については丁寧な説明ありがとうございます。</p> <p>⑤ ③リサイクルについても分かりました。</p> <p>⑥ ①エコバスについては、路線の変更だとかダイヤ見直し、非常によくやっていただいたなという認識でいます。そんな中で、これは7月に試行で進んでいくんですけども、今後、試行するに当たって、また課題だとか問題が出てくると思います。この辺はどういう形で改善する余地があるのか、意見を聞いてまた改善していく余地があるのかというのを一つ伺いたいんですけど、前回、我々の同僚議員からも、郷土資料館にどうしても行きたいので、何とかバス停ということをお話ししたら、今回、恵み野東7丁目ということを新設いただいてやっていただいたというのは十分ありがたいなと思っているんですけども、要は、この郷土資料館の利便性だとか利用者をぐっと増やすためには、やはり郷土資料館バス停という名称が必要だと私は思うんです。そのバス停があることによって、市民が、このバスで行けば資料館が近いし、そこに行けるんだという認識に立ちますので、これは東7丁目で降りても、200メートルぐらい先に資料館ですというのはなかなかぴんとこないと思うんですよ。今後、この辺の改善の検討をする余地があるのかどうか伺います。</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>⑥ 試行に当たっての改善する余地ということで、主に郷土資料館のことになると思うんですけども、試行に当たりましては、利用者数ですとかアンケートによる市民の御意見、そういったことを基に、改善の必要があれば改善をするような形で本格運行につなげていくという形で考えております。郷土資料館のバス停の名前ということも、通常、エコバスを使う方は、今の状況から見ると通勤・通学というのが多いということで、その地区の名前ですとかをバス停の名前にしているところが多いところなんです。また、郷土資料館からの距離が、今、東7丁目付近のバス停の位置を地域の方と調整しているところなんですけれども、人によっては、家の前にバス停があるというのがあまりよろしくないという方もいらっしゃる、ちょっとまだ場所が確定できてないところになります。その場所から、今の想定ですと、郷土資料館まで600メートルから700メートルあるような形になりますので、その辺りのバス停の名称につきましても、教育委員会のほうと</p>

前田委員	<p>も相談しながら、あと地域のアンケートですとか利用状況、その辺を見ながら、今後考えていきたいと思っております。</p> <p>⑦ 分かりました。検討をお願いしたいと思います。要は、私もそうだったんですけど、郷土資料館というのはなかなかイメージがつかなくて、結構離れていますから。やはり郷土資料館の利便性だとか、郷土資料館を多く使っていただくためには、郷土資料館という名前があるバス停だと非常に利用者も増えるんじゃないかなという発想からお願いしているということで、やっぱり一番大事なのは、地域のその周辺の人方の意見が一番大事ですので、そこを尊重してやっていただきたいと思えます。答弁は要りません。</p>
矢野委員	<p>① 資料①、自転車用ヘルメット普及モニターの事業について、こちら配付対象者を市内在住65歳以上を対象としていますけれども、その他モニター事業の実施として、説明会への参加や協力とアンケートの実施としていますけれども、この部分是对象者に対して必須の条件になるのか、また任意なのか、あくまでこれは配付ですけど、モニター事業になるので、そういうような条件はどこまで限定されているのか伺います。</p> <p>② 資料②、エコバス路線のダイヤ等の見直しについてなんですけれども、私からは新規の路線のほうですけども、既存のルート図の表示は、既存の路線のほうは矢印が入っているんですけども、今、こちら新規のルートの緑の図面には矢印が掲載されていなくて、回る方向が分からないので、改めて確認させていただきます。特に恵み野駅なんかは、どちらから入ってどちらから出のか、ちょっとこの図面では分かりにくいので、追加で入れていただくのと、今ちょっとこの場で回る詳細を伺います。</p> <p>③ 資料⑤、今、前田委員からの中にもありましたけれども、お墓のニーズというのが大分変わってきていると思えます。私から合同納骨塚についてなんですけれども、現状と課題で、合同納骨塚について需要が急速に伸びてきているということが分かりました。説明では、貸付残件数で502件となっており、令和10年度には受入れ困難になる見込みとありますけれども、近年では、墓じまいが急速に進んで、少子高齢化の行く先には納骨についての考え方もさらに今後大きく変化していくものだと思います。実績に基づくと、今後も年間150件程度の貸付けが見込まれるとありましたけれども、個人的には、表3の数値をグラフ化してみると、今後は年間150と言わず、200、300件の貸付けになってもおかしくないものがあるとも推測します。その場合は、令和10年より前倒しで1,500体収容可能とした数値を超えてしまうと予測しますが、今後の整備方針では、造園を検討すると明記されていますけれども、この数値を見直して、合同納骨塚の造園を前倒しで計画すべきとも考えますけれども、合同納骨塚についての計画の進め方や考え方について改めて伺います。</p> <p>桑原生活環境課長 ① 私から、まず自転車安全対策推進事業のモニター事業ですけども、説明会</p>

とアンケートの参加が必須なのかということで、説明会につきましては、基本的には皆さんに御参加いただいて、そこでヘルメット着用のことですか自転車の交通安全について説明させていただきまして、モニターの方から周りの方に伝えていただく、そういったことも考えておりますので、説明会とアンケートには基本的には御参加していただきたいと考えております。また、交通安全活動につきましては、セーフティコールですか交通安全の自転車のマナー啓発ですか、そういったことを想定しているんですけども、そこにつきましては御協力いただくような形で、なるべく御参加いただきたいんですけども、必須にはしないような形で考えているところです。

② 次のエコバスのルート矢印がないということで、これから追加していきたいと思えます。動きにつきましては、恵み野駅の東口が起点となっております。最初に出る始発のバスが、恵み野駅東口から、まず島松方面に向かうものにつきましては、島松駅まで行きまして、また恵み野駅東口に戻ってきます。そこから中島町のほうに向かいまして、ぐるっと恵庭駅のほうまで回って行って戻ってくるという形になります。もう一つのほうが、恵み野駅東口を出発しまして、恵み野病院のほうにまず行きます。そちらから恵み野南1丁目を経由しましてバイパスに出まして、柏陽中学校、そこから恵庭駅まで行きまして、恵庭駅から文教大学や中島町を通して、恵み野駅東口まで戻る、そこからまた島松のほうに向かって行くというルートになっております。

菊地戸籍担当主幹

③ 私から、合同納骨塚の関係で回答させていただきます。令和10年度以前に受入れ困難になった場合どうしていくつもりなのかという御質問だったんですけども、当初、令和8年あたりで実施設計、令和9年で造成、令和10年あたりに供用開始できれば、大体、人数的にいいところに行くのかなというふうに考えてはありましたけれども、もしそれ以前に足りなくなってくるようでしたら、それをちょっと前倒しするとかということ、検討を今後させていただきたいとは考えております。

矢野委員

④ ①まず、自転車用ヘルメットですけども、基本的には分かりました。そんなに強制なものではなく、応じていただける範囲で、こういうような形で実施するというので、活動のほうも任意で参加していただけるようお願いするということが分かりました。

⑤ では、今後のスケジュールでは、4月から周知活動に入るというふうになっていますけども、高齢者の自転車用の65歳以上のヘルメットのモニターと、小学生のモニター、それぞれあると思うんですけども、対象者がある程度限定されているので、告知の仕方が憩の家や小学校とか、そういうような形で書面とかで配布するほうが効率的にはいいかなというふうに考えますけれども、この周知の仕方についてどのように考えているのか伺います。

⑥ ②バスのほうなんですけども、バスのほうは先ほど説明していただいたので分かったんですけど、ちょっと私が想定していたのと違って、恵み野駅を起点

にするという考え方なんです。今までの既存のルートですと、ただ回っているというイメージだったんですけど、今の説明を改めて聞くと、恵み野駅から島松へは往復する形ということが考えられて、一方、先ほど恵み野駅を起点にして東側というんですか、右側の恵み野病院側に行くのは、往復の回りじゃなくて、このルートを通ると、今、開発しています、ぐるっとフレスポのほうを回っていくのは、恵み野駅から恵庭駅側に運行する片道ルートというふうに考えて、これが恵み野駅に戻ってくるっていうふうに考えていいんでしょうか、ちょっと後ほど答えてもらいますけども。もう1本が、恵み野駅から恵庭駅側に向かって行くという、3方向に行くということで、今、先ほど説明を受けたのを聞くと、私の中では、恵み野駅を3方向に出て、島松側には往復、恵庭駅側には往復、行くほうと帰るほうの路線があって、恵み野病院側に行くほうだけが戻ってくるルートがなくて、恵庭駅側に循環して向かっていくルートがあるというふうに感じたんですけども、ちょっとそこを改めて伺います。

- ⑦ ③最後、合同納骨塚のことなんですけれども、一応、造園のほうに関して、こういうような対応ができるというのは分かりましたけれども、それとは別に、合同納骨塚で確認したいことがありまして、利用料金が1万5,000円となっております。永代供養代となっておりますけれども、料金の設定と、この料金の根拠、また、この料金を回収して集めたお金の使用の用途がちょっと気になりますので、そちらを伺います。
- ⑤ 自転車安全ヘルメットの事業につきまして、周知の仕方なんですけれども、まず資料にありますとおり、広報、ホームページ、SNSの活用は行っていくということと、モニター事業につきましては、65歳以上になりますので、委員おっしゃるとおり、憩の家など高齢者の集まる場所にもチラシやポスターなどを設置したいと考えております。また、ヘルメット購入費助成事業につきましては、対象が小学生以下ということになりますので、こちらもポスターやチラシを小学校ですとか幼稚園など、そういったところに設置するようにしたいと考えているところです。
- ⑥ そして、エコバスのほう、すみません、説明がちょっと分かりづかったのかなと思うんですけども、仮に今、Cコース、Dコースという形で説明させていただきますと、Cコース、Dコースは同じコースを時計回りと反時計回りで回るという形で、今の既存路線のような同じルートを逆方向に向かうという形になります。ですので、どちらかのコースが恵庭駅に行かないとか島松駅に行かないとか、そういったことはございません。Cコースで改めて説明いたしますと、恵み野駅東口を出まして、島松駅まで行きます。島松駅からまた恵み野駅東口まで戻ってきます。そこから中島町、文教大学を経まして、恵庭駅西口に行きます。そちらから恵庭南病院、市役所通、有明、有明団地、柏陽会館を経由しまして、コメリパワー、恵み野病院、そして恵庭東口に戻ってくると、そういったルートです。この逆回りがDコースとなります。

桑原生活環境課長

菊地戸籍担当主幹	⑦ 合同納骨塚の料金の設定についてお答えさせていただきます。料金設定させていただいたのが平成27年ぐらいなんですけれども、このときに、そこにかかった土地代ですとか、造成費を割り返して、設定をさせていただいたというふうに記録されておりました。主要の用途なんですけれども、年間の管理費などに充てていくという形で使用させていただくような形になっております。
矢野委員	<p>⑧ ①自転車ヘルメットについて、ポスターやチラシで周知していただけるということなので、ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>⑨ ①ヘルメットに関することなんですけれども、こちらのほうで配付するという形になると、仕様やデザインを決める、その現物をお渡しするということになると思うんですけれども、そのデザインなどは、こちらで全部決まったものなのか、対象者が選ぶことができるのか、また、こちらで購入してお渡しするというのであれば、どういった形で市内の業者に発注するのか、どのようなところにこれだけの数のヘルメットを用意するのか伺います。</p> <p>⑩ ②エコバスの件なんですけれども、御説明いただいて分かりました。先ほどの説明を聞いてちょっと混乱したんですけれども、分かりました。これだと非常に時間短縮になると思いますので、特に問題ないと思います。ありがとうございます。</p> <p>⑪ ③合同納骨塚の件に関しては、造園費や管理料ということで分かりました。こちら最後に、こちらの料金のことは分かったんですけれども、通常の墓園自体の区画数の見直しは、先ほど説明あったとお理解できますので、合同納骨塚の今後の需要に対して、的確に対応できるようにお願いしたいということで、特に答弁は要りません。</p>
桑原生活環境課長	⑨ ヘルメットのモニター事業の、まず、配付するヘルメットの種類についてなんですけれども、まだ確定していないところではあるんですけれども、種類としましては、スポーツタイプですとかキャップタイプ、ハットタイプ、あとフリータイプというような4種類を選びまして、それをモニターになる方にどれをかぶりたいかというのを選んでいただいて、それを説明会のときに配付するような形で考えております。なので、ある程度、モニターの方の希望というのをお聞きするような形で考えています。それと、発注の方法なんですけれども、多くのヘルメットとなりますので、市内の事業者が発注するという形で、発注方法は見積り合わせとか、そういった形になるかなと思うんですけれども、市内の業者から発注するような形で考えております。
小林委員	<p>① まず1点目、資料①の2番の(2)のところですか。助成額の算出基準についてなんですけれども、ちょっと再度伺います。</p> <p>② 2点目が、資料⑦のごみ減量化ゲームについてなんですけれども、私もこれをちょっとプレイしてみたんですけれども、ぷよぷよ、あるいはテトリスといった落ち物ゲームかのような感覚で、非常に楽しめるアプリに仕上がっているので</p>

<p>桑原生活環境課長</p>	<p>はないかなというふうに思います。ただ、周知することによって結構ごみの分別のレベルも上がるかと思うんですけども、今後の周知方法について伺います。</p> <p>③ もう一つが、資料⑧、事業方針の評価のところ、ケース1とケース3で採択しない理由に、長期的なごみ処理体制の確保に懸念があること、資源化の継続が不安定、災害対応に難があるなどの理由が挙げられているんですけども、どういった事情からこのような判断をするに至ったのか細かく伺います。</p>
<p>中山廃棄物管理課長</p>	<p>① 私からは、ヘルメット助成事業の3,000円の算出基準についてでありますけれども、この事業を進めるに当たりまして、市内販売店のヘルメットの価格を調査いたしまして、安全性の認証を受けたものというのが今回の購入費助成の条件となっておりますが、その認証を受けたものにつきましては6,000円程度の価格となっていることから、その半額を助成するような考えで算出しているところです。</p> <p>② まず1点目、ごみ減量化ゲームでございますが、ごみ減量化ゲームに取り組んでいただき、誠にありがとうございます。周知方法でございますが、今、3月号広報と同時配布しておりますごみ減量大作戦で周知しておりますほか、LINEのほうでも周知させていただいておりますので、かなりの方にやってみていただいているのかなというふうに感じているところでございます。</p> <p>③ 2点目、リサイクルセンター整備基本計画についてでございますが、まず、ケース1の公設・公営の場合、機能性を十分に確保するため、設備数が多く、建設費が高くなる傾向にあります。また、設備の維持管理についても、都度補修となるため、事業費がかかっていくというふうに想定されております。さらに、維持管理でいえば、設備数が多くなり、それを直営で管理した場合、維持管理費も高くなるほか、計画外の停止なども想定されまして、長期的なごみ処理体制の確保に懸念があるというふうに推察しているところでございます。続いて、ケース3の民設・単年民営でございますが、建設メーカーの運転会社が運営しているのであれば、様々な補修等対応しやすい反面、維持管理費が高くなる傾向にあります。また、単年度運営であれば、最低限の復旧、管理を繰り返すことになりまして、維持管理費も、長い目で見た場合、高くなってくると考えております。</p>
<p>小林委員</p>	<p>④ ①に関しては理解いたしました。</p> <p>⑤ ②ごみ減量化ゲームについてなんですけども、周知方法については理解いたしました。私も試しにプレイして、最初はさんざんな結果が出たことから、ちょっと熱くなって、時間にして40分ぐらい熱中してしまっただけなんですけども、これをやることによって、ごみの分別のレベルが非常に上昇するのかなといった意味で、市のごみの減量化に向けてという意味では、このゲームは非常に有効性あるのではないかと思いますので、ぜひ普及していただければなというふうに思うところでございます。</p> <p>⑥ ②ただ一つ残念だったところが、ライフがゼロになった場合、要するに規定</p>

<p>中山廃棄物管理課長</p>	<p>回数間違ったときに、最後に何で間違ったのかが表示されないで画面が変わってしまうというところで、正解が確認できないというところも見られたので、大した問題ではないのですが、もし可能であれば、ちょっと改善していただけないか伺います。</p> <p>⑥ 私から、ごみ減量化ゲームについてお答えさせていただきます。40分も御利用いただいて、ありがとうございます。周知方法で先ほど1点漏れておりまして、教頭会でも周知のほうをさせていただいております、小学生4年生が、のびゆく恵庭の中でごみのページがありまして、そこの中で、焼却施設等も見学していただいているという状況にあります。そういったことから、授業の中でもこういったものは使えないかなということで、教頭会のほうで提案させていただいております。ゲームで学びながら、熱くなり過ぎないように注意していただきながら、授業等でも使っていただけたらなというふうに考えているところでございます。ゲームでございますので、何で間違ったか正解が出てしまっただけでは、また面白味も欠けるという点もありますので、このままの形で継続させていただきたいと思っております。</p>
<p>野 沢 委 員</p>	<p>① 資料②、これはちょっと前にも聞いたんですが、今度、新規路線ができるということで大変いいことだろうというふうに思います。そこで、既存のルートにおいては、ダイヤの関係で、大幅な変更がないというような形になっておりますけれども、新規路線についても、ダイヤについては、始発・終発の時間や通勤・通学時のJRとの接続性、そういう形でJRの接続性を考えたダイヤ編成になるのかなというふうに思いますけれども、前にも申し上げたように、既存の路線と新規路線の接続の時間帯の編成についてはどのようになっているのか伺います。</p> <p>② 資料③、活用事例として、パソコンやプロジェクターの購入と出ていますけれども、具体的にほかにどのような活用事業があったのか、またそれが町内会の活性化にどのようにつながっていくのか、その後のフォローだとか、それから今後この事業を募集するに当たっての募集の仕方も併せてどのようになっているのか伺います。</p> <p>③ 資料④、市民の広場の開催した状況が載っていますけれども、非常に好評だったという形になっています。中を見ると、市長とお話する機会があったのでよかったとか、横のつながりができてよかったとか、若い人が参加してきて積極的にいろんなまちづくりの話ができたとか、そういう形で非常に中身のあるような、そういう市民の広場になったのかなというふうに思いますけれども、そういうことも受けて、さらに次の展開として、この市民の広場の開催をどう考えていくのかということについて伺います。</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>① 私からは、エコバスの新規路線と既存路線の接続性についてお答えいたします。今回の見直しに当たりまして、利便性の向上と運行上の課題、運転手さん</p>

の待遇の改善ですとか、そういったことを一番の改善点として検討しているところなんですけれども、新規と既存の接続性というのを一番に考えますと、減便ですとか、そういったことにつながってしまうということで、新規も既存も、その路線、ルートを一定時間で回るということを優先的にしているところです。ですので、各JR駅、3駅ありますので、ここもどこの駅に合わせるかということで接続性も変わってきますので、新規と既存の接続性を合わせるということは今回はあまり考えずに、各駅で少々お待ちいただく時間帯もあるかもしれないのですが、乗換えできるような形で少々お待ちいただくということも利用者の方にお願ひしながら運行したいと考えているところです。

渡邊地域担当主幹

② 私のほうから、町内会活動活性化事業補助金の活用状況についての具体的な内容ということだと思いますが、主にデジタル化に伴うものが15件のうち9件ぐらい、その中には、パソコンの購入、あとホームページの開設、それからプロジェクターですとか、そういうものを活用して、ペーパーレス会議を実施したりですとか、そういったこともありました。ホームページの開設につきましては、パソコンの購入とか、あとインターネットの接続費用、そういうようなことに使われているケースもございます。あとイベントに関しては、花火大会もそうですが、それ以外にありましたのは、町内会のお祭りと言いますか、そういった類のイベントにも活用されております。内容的にはそんなことで、今後につきましては、まだ3か年の試行ということもありますので、そういった申請件数をいろいろ町内会の中でも共有して、新たにどういったケースが出てくるのかなども考えながら、今後、どういうふうにつなげていけばいいのかということで検討していきたいと思ひます。今でも要望として出ているのは、インターネットを開設しますと、補助金をもらった翌年度から、その接続費用ですとか、プロバイダ料とか、そういったものもかかるので、そういうものにも活用できるように検討してほしいといった意見もござひますので、それもちよつと3年間の試行を過ぎた後に、どういった形でできるのかというようなことも含めて、町内会連合会などの意見も聞きながら考えていきたいと思ひております。

③ それから次に、市民の広場の今後ということですが、今回のテーマが10年後の恵庭ということで、総合計画を意識してのテーマでしたが、このテーマの募集につきましても、様々な市民活動団体もありますし、あと市の内部でもいろいろ市民の皆様のお意見を聞きたいといった場合もござひます。そういったものをいろいろ希望を取りながら、その内容に応じてどういった年代層の方が意見を出しやすいのかとか、聞きたいのかとか、そういったニーズも確認しながら、参加者についても募集をかけるとか、時間帯を考えると、そういったことも検討しながら、ただ、これは要望を聞く会ではござひませんので、あくまでも市民の皆様と市の理事者ですとか職員が一緒になって、そのテーマに基づいて考えを言い合つた中で、その情報を共有して、それぞれの立場で役立て

<p>野 沢 委 員</p>	<p>ていただくとか、中には市政において役立てることもありますので、そういったことで今後とも引き続き継続して参りたいというふうに考えております。</p> <p>④ ①エコバスの関係ですけれども、今、接続までやるといったら編成が大変ですから、ちょっとそこまでは手が回らないのです、みたいな形だったと思うんですけれども、やはり新規路線ができて利便性はすごくよくなったと思うんですけれども、その沿線にいる人はいいですけれども、そうじゃない場合はやっぱり乗換えしなきゃいけないという形になると、乗換える時間がどれくらいあるのかということによっても、利便性向上につながるかどうか、利便性は向上しているんですけれども、ただ、そののところはどこまで利用者の方の満足度が高まるかということからいくと、バスですから時間どおり走るかどうか分かりませんが、限りなくそういう編成を近くできれば、例えば何時間かに1本はそれに近づけているとか、せめてそういう努力はしていただきたいなというふうに思いますので、その点について再度伺います。</p> <p>⑤ ②それから、町内会活性化事業補助金ですけれども、令和6年度は申請団体が、67町内会の中の18ぐらいだったということで、どうやってこの活性化補助金を活用しようかというところについては、周知、お話しされているんですけども、それをどう活用して活性化につなげていこうかという次の段階がなかなかこない。特にパソコンだとかホームページの開設だとかということについて、それがじゃあ実際にどこまで活性化につながるのか、加入率上昇につながるのか、それについて具体的にこうすればいいんじゃないでしょうかという助言みたいな、相談するみたいな形を取って丁寧にやっていかないと、こういうのがありますよというだけでは、イベントについて分かりやすいんですけども、そうじゃない部分については、なかなかどうかなのにはありますので、それについてもう少し具体性を持った丁寧な説明、または助言をしていかないとなかなか難しいのかなというふうには思っています。それについて再度伺います。</p> <p>⑥ ③それから、市民の広場については分かりました。今後も様々な形で幅広く、例えば、業種別といったらおかしいけれども、全体でやっているの、例えばこれまでいろんな形でやっている部分はあると思うんですけど、例えば、大学生なら大学生に特化してやるとか、事業者は事業者で特化してやるとか、様々なところでいろんな意見交換があるとは思いますが、そういう形で少しでも、今回は4回なんですけど、1回やってそこに集まってくれるという方はどれだけいるのかなというのがありますから、全て細かくできるような形も含めて、またオンラインなんかも活用した中で広げていければ、もっともっとすごくいい取組なのかなと思っていますので、その点について再度伺います。</p>
<p>桑原生活環境課長</p>	<p>④ 私からは、既存路線と新規路線のエコバスの乗換えるの時間についてですけれども、全ての時間帯で接続というのはちょっと難しいんですけども、ダイヤのほうを確認しまして、乗り継ぎしやすい便、そういったもの確認して、ホ</p>

渡邊地域担当主幹	<p>ームページなどで公開できればなと思っております。</p> <p>⑤ 私のほうからは、活性化事業補助金の今後のサポートといいますか、そういったことだと思うんですが、確かにパソコンを活用して、インターネットですとか、加入促進についても、その後のサポートが重要になってくるかと思えます。ただ、町内会の中には、パソコンは買ったはいいいけども、どうしたらいいか分からないとか、具体的な手法が分からないといった部分もありますので、そういうのも含めて、私どものほうでできる部分についてはサポートしますが、ただどうしてもネックになるのは、デジタル化する場合に、町内会に知識のある方がいないと難しいという部分もやはり発生しますので、そういったことも含めて、その町内会が無理をしない程度に、どこまで合理的といいますか、効率的にできるかといったような手法も、他の市町村の例なんかも参考にして、その町内会に今一番何が必要かといったことも含めて、アドバイスは行っていきたくと思いますし、また、そういう町内からの要望については、極力我々も調査するなどして、そういう情報を流して参りたいというふうに考えています。</p> <p>⑥ それから、市民の広場についてですが、委員おっしゃるとおり、大学生とか分野別ですとか、そういった開催の方法、また、オンラインでやったらどうかといったような御意見も確かにございます。ただ、去年は4回やりましたが、それまでは大体2回から多くても3回ぐらいということで実施しておりました。そういった中で、中のニーズの一つに、高齢者の方は若い方の意見も聞きたいですとか、そういったニーズもありますので、分野別にすると、若い方と高齢者の方が一緒に会話といいますか、同じテーマについて議論する場がなかなかないといったようなニーズもございますので、その辺については、今後、またそういうアンケートの調査結果なんかも参考にしまして、どういった形でやるのがいいのか、先ほども申しましたが、テーマに沿った中で、どういったところの意見が必要なのかというようなことも考えながら進めて参りたいと思っております。</p>
野 沢 委 員	<p>⑦ ②町内会と③市民の広場については分かりました。</p> <p>⑧ ①エコバスのほうも様々あると思えますけど、ぜひそこは今後検討していただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
澁 谷 委 員	<p>① 資料⑧、建設候補地に島松沢と盤尻が候補地で上がっていて、確定じゃないですけど、盤尻のほうの方が優位性があるのかなと思えますけど、別ルートへの搬入も可能であるという記載があるんですけども、具体的に今、ルートに関係でもし計画で持っているのであれば、どういう、今、盤尻の左斜めに入っていきますけど、その辺、今、何か別ルートを計画で持っているのかどうか伺います。</p>
中山廃棄物管理課長	<p>① 別ルートというのが、今のところ、石狩東部広域水道企業団の裏から入るところですので、一応ルートとしては確保されているところぐらいで、不法投棄等もかなりある場所ですので、あんまり公にはしていないような</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>ところではあります。</p> <p>② ①水道企業団といたら、もう一つ先の市営牧場に行くあそこの坂、あそこから回るという計画と分かりました。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p> <p>なし</p> <p>日程3. 生活環境部関連終了</p> <p style="text-align: center;">11時31分 休憩</p> <p style="text-align: center;">11時40分 再開</p> <p>●日程4. 保健福祉部関連</p> <p>1) 報告事項</p>
<p>根岸国保医療課長</p> <p>小路介護福祉課長</p> <p>須貝保健課長</p> <p>渡部健康スポーツ課長</p>	<p>資料説明⑨令和7年度の国保税について</p> <p>資料説明⑩恵庭市福住憩の家の開館時間等について</p> <p>資料説明⑪恵庭市有償サービス「ちょこっとお手伝いサービス なんもだよ」の料金改定等について</p> <p>資料説明⑫第3次恵庭市健康づくり計画の策定について</p> <p>資料説明⑬第4次恵庭市食育推進計画の策定について</p> <p>資料説明⑭第2次いのち支える恵庭市自殺対策計画の策定について</p> <p>資料説明⑮運動・スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査結果について</p>
<p>長谷委員</p> <p>小路介護福祉課長</p>	<p>【質疑】</p> <p>① 私からは、資料⑪、ちょこっとお手伝いサービスなんもだよ、有償サービスなんですけれども、多分これを始めたときに説明があったかと思うんですけども、まずシルバー人材センターとの違いを最初に伺います。</p> <p>① なんもだよとシルバー人材センターの取扱いの違いについての御質問にお答えいたします。シルバー人材センターは、高齢者の就労を通した生きがいを目的としておりますが、本事業は、相互の助け合いを目的としており、協力者は高齢者のほか、子育て世代や大学生など、多様な人材が登録し、協力し合っているものとなります。また、作業内容として、灯油のポリタンク移動など、短時間で終わる作業もありますことから、シルバー人材センターでは代替できない事業となっております。</p>
<p>長谷委員</p>	<p>② 今回の質問の内容なんですけれども、このちょこっとお手伝いサービスなん</p>

もだよでは、お手伝いする側の年齢、随分若い方も登録していいよということで、マッチングの結果、昨年、172件ありましたということでした。すごく心配だったのが、多分お手伝いする方に悪い方はいないと思うんですけども、今、いろいろな詐欺行為ですとか強盗ですとか、そういうのが世の中で横行している状況を鑑みると、お手伝いを依頼したほうの、例えば、お家の中に入って、これやってくれ、高いところ届かないとか、いろいろあると思うんですけども、それに対して、家の中に入ってやっていただくというケースが多いのではないのかなというふうに思います。そんなときに例えば、高齢の女性で独り暮らしですとか、家族構成まで分かるということを考えて、なかなかちよつといづいところもあるのかなというふうに思うんですけども、それに対する対策、市で考えていращやることを伺います。

小路介護福祉課長

② なんもだよの協力者の登録の在り方だったり、説明だったりというところになるのかなと考えますが、なんもだよの協力員の登録をする際には、まず協力員の登録申込書を提出していただくときに身分の確認ということを行っております。その登録が決まりましたら、顔写真入りの協力者証の発行をいたしまして、それを着用して訪問するという行いをしております。それから、活動の手引というものを協力者用に作成しておりますけれども、その中でも、個人情報取扱、金銭・物品の貸し借りなどをしないなどのルールを載せておりますけれども、その説明をいたしまして、しっかり理解をしていただくということを行っております。さらに、マッチングをして初回の訪問時には、社会福祉協議会に事業を委託しておりますけれども、社協の職員が同行して、顔を合わせ、顔つなぎをしっかりと行っているということをしております。それから、ボランティア講習会を受講していただいて、家に入っていたり、ボランティアの内容だったり、意義だったり、そういうことの知識を深めていただくというような取組も行っております。このような登録の際に、御説明だったり、手続を行ってやっていただいているんですが、そのほかに、万が一の場合を想定しまして、一応、福祉サービス総合保障に加入していることを御説明しまして、協力者・利用者のけが、協力者の感染症罹患の補償、それからプライバシー侵害などにより利用者に損害を与え、法律の賠償責任を負った場合などの補償、そのようなことで保険に入っているということをお説明し、逆に協力者の方には安心して活動してもらおう工夫をし、トラブルのないような活動をしていただくことを行っているところです。

長谷委員

② いろいろ対策を講じていただいて、これからの高齢化社会に向けて、本当に独り暮らしの方が増えて、利用者が独り暮らしの高齢者ということが多いと思います。それと同時に、世の中で悪さをする方というのは、手を替え品を替え、いろんな内容でやってくるので、その社会環境、社会状況の対応の変化をいち早くキャッチして、お互いに気持ちよくこういったボランティア活動をしてもらう、するというふうに、その都度、目を光らせていただければという

ふうに思いますけれども、よろしく願いいたします。

1 1時59分 休憩

1 3時00分 再開

前 田 委 員

- ① 資料⑪、恵庭市有償サービスの料金改定についてです。まず、2の改定後の料金表で通常作業とありますけれども、これはどういう作業、どういうことがあるのか、どういうのが含まれているのか。また、草刈りと草取り、これは違いますよね。違う認識なのですから、これについてどういう見解なのかなということをもとに伺います。
- ② 資料⑫、第3次恵庭市健康づくり計画の策定について。これは恵庭市の健康に関する概況を見ますと、65歳、75歳以上の高齢者化率だとか、平均寿命、健康寿命、出生数、要介護認定率等々、全て全国、全道の平均値よりずっと上で、非常にいい状況だと思うんです。私は市民として非常に誇りに思っているんですけれども、その一方で、12ページの現行計画の評価とありますよね。ここで35項目の指標があるんですけれども、目標達成したというのが37%に対して、目標未達成、悪化しているというのが45.7%もあるんですけれども、これをどのように評価して分析されているのか伺います。
- ③ 資料⑬、運動・スポーツ推進計画策定に関わるアンケート調査結果についてなんですけれども、今回のアンケート結果で、自由意見が非常に多くて、その中でも非常にいい意見が多く出されているなという感じを私は持ちました。スポーツ振興に関心が高い現れかなとも思います。そこで、その中に恵庭市として、運動・スポーツ推進計画にビジョンを掲げ、夢のある推進計画にしてほしいという意見がありましたけれども、私もそのとおりだなと思います。そこで、これまでの10年間のスポーツ振興について検証されると思うんですけれども、今後どのようにスポーツ振興に向けて検討を進めていくお考えなのか伺います。

小路介護福祉課長

- ① 私からは、料金改定後の通常作業についてはどのようなものがあるのかというのと、それから、草刈りと草取りの考え方、この2点についてお答えいたします。まず通常作業と、今現在は、除雪以外のものを通常作業としておりまして、内容としては、掃除だとか、家具の移動、それから灯油のポリタンクの移動、電球の交換、買物付き合い、話し相手など、短時間で行うことができるものとしております。なお、介護保険サービスで対応するだとか長期的なサービス、資格や技術が必要な作業については、サービスが提供時できる事業所につないでいるところです。次に、草刈りと草取りについてのところなんですけれども、事業創設時に想定していましたが、玄関前だとか、庭先の雑草抜き、この程度のことを想定しておりましたので、集計区分等々につきまして、草取

<p>須貝保健課長</p>	<p>りということで集計をしていたり、依頼を受けていたりしている経緯はございますけれども、昨年度ぐらいから依頼内容が、雑草を鎌で刈る作業が増えているという現状でございますので、今回、作業区分を草取りというふうにいたしましたけれども、ここにつきましては、草取り・草刈りに変更して調整を図って参りたいと考えているところです。</p> <p>② 私から、資料⑫の質疑についてお答えいたします。まず、委員の御指摘にありました4ページ目のことについてなんですが、現行計画の大きな目標として、健康寿命等の延伸というようなものを掲げていて、健康寿命、平均寿命について、現行計画の数字が目標を達成できたというような形については、ある程度健康増進事業をはじめとした各種取組が効果的に機能したのではないかなというふうに判断しております。一方、また、35項目について、個別の指標というのを定めておまして、こちらについて今回、16項目が目標未達というような結果になっております。前回策定時に定めた数字に対して5%という数字の変動をもって、いい傾向、悪い傾向というような形のものを出しているんですが、特に乖離が大きかった項目で言うと、領域別で申しますと、がんに関する領域、もう一つは栄養と食生活に関する領域、それと、歯と口腔の健康の分野において目標の乖離が大きかったかなというふうに判断しております。</p>
<p>渡部健康スポーツ課長</p>	<p>③ 私からは、委員の御質問の資料⑮の御質問についてお答えしたいと思います。今後のスポーツ振興についてどのように進めていくのかというような趣旨の御質問だったかと思いますが、先ほどの冒頭の御説明の中でもお話をさせていただきましたが、来年度、令和7年度から、運動・スポーツ推進計画の次期計画の策定の実施をさせていただく予定でございます。この恵庭市運動・スポーツ推進計画でございますけれども、恵庭市運動・スポーツ振興まちづくり条例及び夢と健康を育むスポーツ都市宣言を踏まえたスポーツによるまちづくりに向けた基本理念ですとか、基本的な考え方と、それらを実現するための施策、こういったものを示すための基本となる計画でございますことから、今後におきましても、今、これから着手していきます実施計画に基づきまして、より一層、スポーツ振興を進めて参りたいというふうにご考えているところでございます。</p>
<p>前田委員</p>	<p>④ ①それでは、順次、再質問いたしますけれども、協力者数が昨年12月末で84名、非常にありがたいことですね。ただ、その84名の中に、7割ぐらいが65歳以上の高齢者なんですよね。草刈り等、作業によっては8時からとか、涼しいときにやると考えていますけれども、過去に熱中症で病院にかかったとか、そういう事例があるのかどうか。やはりこの熱中症に関してしっかり対策を取ってもらいたいなと思いますけど、その辺の対策を再度伺います。</p> <p>⑤ ②次の質問で、目標未達成、この辺が45%あるんですけど、これを着実に上げていけば、ますますよくなりますので、この辺のところはしっかりと進めていってほしいなと思います。これは答弁要りません。</p>

	<p>⑥ ③スポーツ振興について、今回のアンケートの自由意見、私はこれを全部見させていただいたんですけど、非常にいい意見が本当に多々あります。そこで今、総合計画にもしっかり反映させる部分もあると思うんです。これ総合計画ですよ。10年先、スポーツ振興計画もそうですけども、総合計画にも前期、後期がなくなっていく構想になるんですけれども、その辺にしっかりうたわないと、なかなか実現できないということもあると思うんです。私はこれまでの10年間を見ますと、平成26年11月にスポーツ振興まちづくり条例ができて、夢と健康を育むスポーツ都市宣言をやりました。それからちょうど10年たつんです。昨年11月でちょうど10年たちますけれども、例えば、佐伯武道館が閉鎖になったり、旧青少年研究センターが平成31年に閉鎖になったり、令和4年には駒場体育館が閉鎖になった。しかしその代替施設というのがなかなかできていないというのが現状なんです。私にしてみれば、なかなかスポーツ振興が進んでいないという感覚でいるものですから、推進計画もそうですけども、ぜひ総合計画の中にその辺のところ、整備関係のことを1項目しっかり入れていただいて、今後10年間にわたってスポーツ振興をこういう形で市としてやっていくんだということをしっかり取り組んでいただきたいと思うんですけども、最後に御所見があれば伺います。</p>
<p>小路介護福祉課長</p>	<p>④ 私からは、なんもだよの協力員さんに対する熱中症対策についてお答えいたします。これまで活動の中で熱中症にかかったという報告はございません。ただ、本当に熱中症対策としては、委託先の社会福祉協議会の担当者が作業をマッチングする際に注意喚起を行って作業するようにしていることと、それから、外気温が30度を超えるような場合については、別日を調整するなどの対策を行っているところです。</p>
<p>足立保健センター長</p>	<p>⑥ 来年度策定に着手します次期運動・スポーツ推進計画につきましては、上位計画である総合計画ともきちんと連動した形で策定して参りたいというふうに考えております。</p>
<p>前田委員</p>	<p>⑤ ③よろしくお願ひします。総合計画特別委員会も設置されて、そういう議論があると思います。また、スポーツを語る会でもしっかり今後議論をしていきますので、その提言書もしっかり上げたいと思いますので、しっかり御議論いただいて、進めていただきたいと思います。以上です。答弁要りません。</p>
<p>澁谷委員</p>	<p>① 資料⑪、先ほど、前田委員のほうからお聞きした部分で、草取り・草刈りの関係なんですけど、私が見ていて、刈り払い機と申しますか、草刈り機を使った草刈りを想定とか思い描いていたんですけど、家の前の雑草取りということで、刈り払い機じゃないということですか、そこを伺います。</p>
<p>小路介護福祉課長</p>	<p>① ちょっとお手伝いサービスについては、今現在は、刈り払い機による草刈りは行っておりませんので、そういう御希望がある場合は、サービスが提供できる事業者につないでいるところです。</p>

<p>澁谷委員</p>	<p>② ①分かりました。そういう場合があったら、シルバーなり何なりという形になるんですね。石が飛ぶので、飛ばないようにやっぱり複数人で草刈りをやるので、ここはどうなのかなと今ちょっと確認していたんですが、そうしたら、草取りをやって、集草といいますか、集まった雑草を最後まで持っていってくれる、集草までやってくれるのかどうか、そこを伺います。</p>
<p>小路介護福祉課長</p>	<p>② 本サービスでは、草刈り後の草については、希望によりごみ袋に入れる作業までは行うことができますが、車でごみを持ち運ぶとか、持ち帰るとか、そのようなサービスは行っておりませんので、そこを希望する場合は、サービス提供ができる事業者にお問い合わせするところです。</p>
<p>澁谷委員</p>	<p>③ ①除雪についても、除雪はしたら、人力というマンパワーでやるという理解でいいんですか。除雪機を使ったやつじゃなくてということでしょうか。その確認をいたします。</p>
<p>小路介護福祉課長</p>	<p>③ 除雪については、協力員の方が除雪機を持って行ってやる場合もあろうかとは思いますが、それをやるために委託先の社協が何か準備をするとか、そういうことは行っておりませんので、基本は手で行っているものと考えます。</p>
<p>小林委員</p>	<p>① 資料⑨、国保関係で、均等割と平等割の軽減措置なんですけども、影響を受ける対象がどれくらいいるのか伺います。</p>
<p>根岸国保医療課長</p>	<p>① 均等割と平等割の軽減ということで、資料⑨、国保税について、こちらは、世帯の人数や所得といった様々な要素があることから、対象の世帯数の推計は難しいところであります。なお、令和6年度における納付書発送時点、いわゆる確定賦課と言われる段階における医療分の軽減対象世帯数ですが、5割軽減については1, 220世帯、2割軽減は1, 184世帯となっており、令和7年度においては、軽減基準額の引上げを予定していることから、この世帯数よりも増えると見込んでいます。</p>
<p>野沢委員</p>	<p>① 資料⑩、有償サービスについて、この有償サービスは大変いい制度だというふうに思っております。これから高齢化社会になって、また社会全体においても支え合う、そういう社会づくりの中では大変いい制度だと思っています。また、制度開始以来、相談件数も増えていきます。ただ、相談のみという方も増えていきます。基本的に制度開始以来、申請して、マッチングしたという方も増えていきますので、さらに協力者の登録数も増えていきますので、大体こういうことが周知が広がって、皆さんの理解が深まっていくのかなというふうに思います。それから協力者の登録数も、年代的にも幅広くなっていますので、さらにそういう点ではすごくいいのかなと思っています。そこでちょっと確認させていただきたいんですけども、他機関紹介というのが、制度開始のときは結構多かったんですけども、それがだんだんと減ってきていますね。それで、他機関紹介の中で、例えばどういうものについてほかのところの機関を紹介したり、別の</p>

	<p>ところを紹介したり、そこにおいて物事が解決しているところまで追っているのか、その辺のところはどうか伺います。</p> <p>② それともう一つ、作業の中で除雪の関係がありますが、除雪については、令和3年度は12件、令和4年度は1件、令和5年度は43件となって、令和6年についてはまだこれから集計するという事なんですけども、今の段階で分かれば伺います。</p> <p>③ それと併せて福祉除雪サービスがありますけども、そこで、個人登録でされている方が何人ぐらいいるのかというのと併せて、このお手伝いサービスを使って除雪している方は、その制度に合わない、マッチングしないというか、条件に合わない方だったと思うんですけども、協力者についてはどういう形になっているのかということも併せて、分かればいいです。今のところ分からなかったらいいんですけども、除雪サービスの担い手のほうで、個人登録をされている方が何名いるか伺います。</p>
<p>小路介護福祉課長</p>	<p>① なんもだよの御質問にお答えいたします。まず、1点目の他機関紹介についてですが、先ほどもありましたとおり、刈り払い機で草刈りをしなきゃいけないとか、あと電気工事等々で何か技術が必要だとか、そういうような場合は他機関紹介ということで適切につないでいるところです。それに伴って全て解決したかどうか、最終のところまでは追ってはいないので、把握していないところです。</p> <p>② 今年度の除雪の件数なんですけど、申し訳ございません。今現在、手元に数は持っておりません。</p> <p>③ 福祉除雪の個人の登録、団体のほうではなくて、個人登録されている方は、2月末現在で11名となっております。</p>
<p>野 沢 委 員</p>	<p>④ ①分かりました。他機関紹介ということですから、例えば、このちょっとお手伝いサービスでできないものなのでしょうけど、それが違うところに、例えばそれが今言ったように別な機関に市を通して行くのか、社協を通して行くのか分かりませんが、それをきちっとマッチングさせているということはあるということですね。分かりました。</p> <p>⑤ ②それから、除雪の件数については分かりました。今はちょっと分からないということで、ただ、福祉除雪サービスの個人登録者数が11名ということがありますから、昨年でしたか、一昨年でしたか、私が聞いたときは5名だったので、それからいくと、そちらのほうもちょっと増えているという形なので、そういう点で、除雪についての支え合いも少しずつ進んでいるのかなという感じはしましたので、今後もこのサービスの充実のために周知、啓発、それから、先ほど皆さんからいろいろありましたけども、そういう課題なんかもしつかり捉えながら進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>1) 報告事項終了</p>

佐藤障がい福祉課長

2) その他所管事務調査について

私のほうからは、市内の牧場における障がい者虐待に関する本市に対する訴訟の経過について御報告いたします。

本件に関わる第7回口頭弁論が本年2月21日金曜日に行われております。第7回口頭弁論は、まず原告においては、被告の牧場側に対する原告準備書面7及び8の提出があり、陳述をしております。

本市においては、原告が前回提出、陳述した原告準備書面4及び原告準備書面5に対する認否反論を目的とした被告恵庭市準備書面6及び7を提出して、陳述をしました。

裁判所からは、被告牧場側に対し、原告の準備書面にある事実関係について、牧場側の認識と違う点について提出するよう依頼がありました。

被告恵庭市代理人からは、恵庭市は虐待を認識していないので、被告牧場側に聞き取りを行い、被告恵庭市として陳述書を提出したいとの申入れを行いました。

このほか、今後の進め方やスケジュールの確認が行われ、その中で、次回第8回口頭弁論期日は、本年5月13日火曜日、午後3時と指定されたところです。

なお、第7回口頭弁論における審理の状況及び原告らの主張に対する主な本市の認否反論につきましては、市ホームページに掲載いたしましたので、併せて御報告いたします。

今後におきましても、事実と異なるとして争う点につきまして、本市の考えを主張して参りたいと考えております。私からは、以上となります。

【質疑】なし

日程4. 保健福祉部関連終了

●日程5. 子ども未来部関連

1) 報告事項

辰下子ども政策課長

資料説明⑩第3期えにわっこ☆すこやかプラン(案)について

資料説明⑪令和7年度 学童クラブの運営について

高橋えにわっこ応援センター 兆

資料説明⑫医療的ケア児レスパイト事業について(案)

資料説明⑬産後ケア事業の拡充について(案)

大林幼児保育課長

資料説明⑭令和7年度 教育・保育に係る確保方策(案)について

資料説明⑮民間教育・保育施設環境整備推進事業について

<p>小林委員</p> <p>辰下子ども政策課長</p>	<p>【質疑】</p> <p>① 資料⑰、学童クラブの運営についての長期休み学童預かり事業について、令和6年と同様に試行的に実施することですが、令和6年度で出てきた課題とか、改善点などについて、現状、明らかになっているものがあれば伺います。</p> <p>② 2点目、資料⑱、医療的ケア児レスパイト事業、こちらの対象児童数が5人となっているんですけども、5人とした根拠について、まず伺います。</p> <p>① それでは私から資料⑰、長期休み活動預かり事業の課題と改善点についてお答えさせていただきます。まず、課題についてでございますが、長期休みの学童クラブへのニーズにつきましては、全国的にも共働き世帯の増加を背景といたしまして、特に夏休みの需要が高まっており、本市におきましても、夏休みの利用希望が多く、冬休みの利用者数が少ないことや、春休みにつきましては、長期休み期間の各法人の空き教室や保育士等を活用する制度設計で運用してございますが、各園の年度替わり準備などにより、空き教室や保育士の手配が困難な法人があったことから、受入人数の縮小ですとか事業の実施を見送る法人が発生してございます。また、夏休みのアンケートで意見があった料金設定に関することも課題として挙げられてございます。改善点といたしましては、まず、ホームページや広報での周知、学校へのプリント配布などを継続しながら、次年度以降につきましては、実施する各法人において、兄弟姉妹に小学生がいる家庭により多く声かけをして、利用者を増やす取組を実施して参ります。また、今年度冬休みの預かりでは、利用料を夏の1万5,000円から1万円に下げたことから、次年度の夏休みについても、冬休みと同様の利用料で実施できるよう、法人と調整して参りたいと考えております。本制度につきましては、今年度と次年度の実績を基に、学校法人等とヒアリングを行って、本制度のよりよい制度設計に向けた取組を検討して参りたいと考えてございます。</p>
<p>高橋えにわか応援センター兆</p>	<p>② 私からは資料⑱、医療的ケア児レスパイト事業の対象数5名の根拠についてお答えいたします。まず、医療的ケア児なんですけれども、医療機関からの支援依頼や特別児童扶養手当などの申請において、えにわか応援センターでまず対象児童を把握することと、あと、医療的ケア児支援の推進協議会の関係機関、構成機関からの情報提供などから把握しているところです。現時点で18歳未満の児童では11名と把握しており、そのうち本事業の対象となる訪問看護を月1回利用しているとか、対象となる医療的ケアを受けているというお子さんが、今現在5名となっております。</p>
<p>矢野委員</p> <p>大林幼児保育課長</p>	<p>① 資料⑳、教育・保育に関わる確保方策の案についてお伺いします。別紙の資料で、参考③、下のほうにある図の令和6年4月1日の年齢人口と利用児童数のところに、3歳児の年齢人口が493人に対して、利用児童数が611人と、ほかの年齢に対して突出的に年齢人口より利用児童数が多い理由を伺います。</p> <p>① 2歳児と3歳児で、制度を御説明しますと、保育園のクラスに行っている3</p>

<p>矢野委員</p>	<p>号認定が2歳児で、誕生日を迎えると、教育認定の1号認定に移行しますと無償化の対象になることから、年度途中で、3号だった方が1号に変更していくという現象がございます。そのため、これが12月1日時点での利用児童数を取っているところから、そういうずれが生じることになっております。</p> <p>② ①大変勉強になりました。ありがとうございます。このことに関しては大丈夫です。ただ、先ほどの中で、資料④のほうでは、0、1、2歳クラスの慢性的待機児童が発生しているということなので、待機児童があまり発生しないようになることを望むだけで、今後とも引き続きお願いしたいというのを最後に、終わります。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】 なし</p> <p>日程5. 子ども未来部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p>【委員協間議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日程6. 閉会中の所管事務調査について ●日程7. その他なし <p>委員長が閉会を告げる</p> <p style="text-align: right;">(13時48分 終了)</p>
-------------	---